

😊 研究活動の倫理指針

神経科学研究の指針を策定し、国内外へ公開しています。

- ヒト脳機能の非侵襲的研究の倫理問題などに関する指針
- 神経科学における動物実験に関する指針
- 神経科学研究を行う上での利益相反（COI）の指針

脳・神経科学の研究には、ヒトや動物の実験が不可欠じゃ。大切な命に関わることじゃから、倫理的な面から研究を考えることも学会の重要な仕事なのじゃ。



👑 3つの学会賞

👑 時実利彦記念賞

脳研究に従事している原則
60歳以下の優れた研究者を
助成し、これを通じて医科学の
振興発展と日本国民の健康
の増進に寄与することを目的
とした賞。

👑 塚原伸晃賞

生命科学の分野において独
創的な研究を行っている
50歳以下の研究者を対象
とした賞。

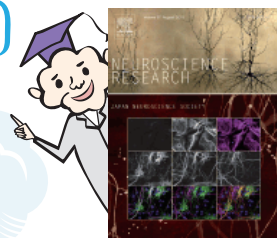
👑 学会奨励賞

顕著な研究業績を有すると
ともに、将来神経科学分野で
活躍することが期待される
若手研究者を奨励する賞。

📖 発行物

研究成果を世界に発信しているぞ。

国際学術雑誌 Neuroscience Research と
広報冊子「神経科学ニュース」の編集・発行



Neuroscience Research



神経科学ニュース

日本神経科学学会は男女共同参画および
科学コミュニケーションを推進します



📌 入会するには？

資 格：神経科学および関連分野の研究に従事し、
本学会の主旨に賛同する方

特 典：年次大会における研究発表等の
各種サービスを受けることができます。

入会金：3,000円

年会費：正会員6,000円、学生会員3,000円

本学会の活動に興味を持ち、
支援される賛助会員も募集しています。

📌 お問い合わせ

〒113-0033

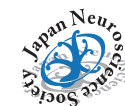
東京都文京区本郷 7丁目2-2
本郷ビル 9F

日本神経科学学会 事務局

TEL : 03-3813-0272

FAX : 03-3813-0296

E-MAIL : office@jnss.org



最前線

脳神経科学

日本の

ワシと一緒に
のぞいて
みよう！



顔の形が「脳」にソックリ！脳博士！
日本の脳神経科学のことを教えてくれるよ



◆ ◆ ◆ 日本神経科学学会 ◆ ◆ ◆

「日本神経科学学会」てなんだろう？

会長のメッセージ

脳・神経科学は今爆発的進展を遂げつつあります。分子生物学的手法が脳の物質的理解の基盤として浸透し、神経病の病態研究が治療法研究にまで進み、高次脳機能研究が人間のこころの本性に迫りだしました。

本学会は、日本における脳・神経科学の中核的学会として、研究の国際的発展と社会への還元を務めます。



日本神経科学学会
会長 田中 啓治

学会のミッション

「脳・神経系に関する基礎、臨床および応用研究を推進し、その成果を社会に還元、ひいては人類の福祉や文化の向上に貢献する」

国内主要都市で**国際学術集会**を毎年開催 / 英文学術誌 **Neuroscience Research** を発行

会員数と大会参加者

- 1974年の発足以来、着実に増加し現在、会員数 約 6,000 名
- 神経科学の学会としては **アジア最大!**
米国、ヨーロッパに次いで **世界第3位** の規模
- 年次大会の参加者 約4,000名



すごい規模なのじゃよ。日本の脳・神経科学者が大集合じゃ!様々な分野の研究者が集まっているのも特徴じゃな。

生命科学、
基礎・臨床医学から、
心理学、行動科学、
工学や数学まで
広い領域の研究者

アウトリーチ

- **市民公開講座**:年次大会に連動して毎年開催
- **脳科学辞典**:利用無料のオンライン「脳科学辞典」を主催(右ロゴマーク)
- **脳科学オリンピック**:日本脳科学関連学会連合が主催する、高校生を対象とする脳科学オリンピック(ブレインビー)の国内予選、さらに国内優勝者の世界大会への派遣を担当



アウトリーチとは、研究や科学技術に対する社会の理解・関心を高めるために、研究を公開することじゃ。日本神経科学学会では様々な形で国民と研究をつなげる場をつくっているのじゃよ。



教えて!



一問

会員の 研究紹介

一答

先生!



- Q1 どのような研究ですか?
- Q2 どの点が世界トップレベルでしょうか?
- Q3 その研究はわが国、そして人類にどのように貢献しますか?
- Q4 日本神経科学学会に所属する意義は何でしょうか?

宮田 麻理子 先生(東京女子医大)の答え

- A1 **神経回路**の活動を計測して、脳の機能を調べています。
- A2 特定の神経回路のみを識別して計測する技術を使い、**怪我や発達期の環境変化**によって脳が劇的に**配線換え**を起こすことを見つけました。

A3 環境が脳に与える影響を明らかにすれば、**精神疾患や発達障害**の病因の解明や**治療法の開発**につながります。

A4 学会には**若い研究者が多く**、また理学、薬学、工学、医学、農学、心理学などの研究者が、多様な技術と考え方で脳を研究しています。**異分野の研究者が自由に交流**できる環境は私の研究に大きく役立ちます。



松井 広 先生(東北大学)の答え

- A1 **光**をあてると脳細胞を興奮させたり、抑制したりすることのできる、**新技術**を使って、心の働きに迫っています。
- A2 **光操作法**は、最初は神経細胞の制御に使われました。しかし、脳の細胞の半分以上は**グリア細胞**です。世界に先駆けて、グリアの光操作に取り組み、**グリアの持つ驚きの能力**がわかりはじめています。

A3 神経とグリアは、相互に作用し合って脳機能を支えていると考えています。**神経ではなくグリア**に働く薬を開発することで、**全く新しいアプローチ**で脳の病気を治すことも可能になるかもしれません。

A4 私の**出身は文学部心理学科**ですが、脳の理解には、あらゆる方面から取り組む必要があり、学会を通じた人とのつながりを経て、**学際的な研究**を展開してきました。競争の**舞台は世界**であり、国内の連携を深める場は私の研究に不可欠です。



岡澤 均 先生(東京医科歯科大学)の答え

- A1 アルツハイマー病、ハンチントン病、脊髄小脳失調症などの**神経変性疾患**が、『なぜ』『どのように』起きるのかを調べています。
- A2 アルツハイマー病では**発症前早期病態に注目**が集まっています。網羅的质量分析で得た**ビッグデータ**を**スーパーコンピュータ**を用いて解析し、最初期の分子ネットワークを明らかにしました。

A3 研究成果はわが国のみならず、**人類の健康福祉**に直結すると思います。

A4 神経変性疾患は**100年以上前**から未だに根本的治療法が見つかりません。この解決には、**新技術を動員した統合的アプローチ**が必要です。この学会はまさに**統合的研究**を可能とする場です。

